



# 神奈川支部報

神奈川支部報 第28号

発行日：2024年3月1日

発行者：込田伸夫

発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部

横浜市青葉区若草台2-58 込田方

## 『かながわ山岳誌』が上梓されました。

神奈川支部設立記念事業として発足しました『かながわ山岳誌』プロジェクトは、昨年5月に現地踏査を終了し、その後、編集作業に取り組んでおりましたが、それも今年1月に終え、この2月に山と溪谷社から、出版されました。

### 『かながわ山岳誌』

著者：日本山岳会神奈川支部

ヤマケイクリエイティブセレクション

発売日：2024. 2. 8

販売価格：2,200円（税込み）

ページ数：304

判型：A5判

山と溪谷社 Web サイトでは、

「日本山岳会神奈川支部が総力を結集して、県内ほとんどすべての山を実地踏破。この一冊で神奈川県のお山がわかります。」と記載され、商品詳細欄では、以下のように書かれています。

「神奈川県内のすべてのピーク（除立入禁止、通行不可）や主要な峠を踏査し、各地域の故事来歴や伝説などを中心にした文化情報、山名の由来も掲載することで、神奈川県山域の特徴を総合的に俯瞰できる書。

第1章は本書の概要を説明、第2章では神奈川県山岳地域の特徴として地形・地質、気象、植生、生息動物、山岳宗教、山名・峠名の由来という各分野についてそれぞれの第一人者が執筆。

第3章では約320の山と峠を対象に87のコースを設定し、その踏査記録と文化情報を掲載します。」

すでに支部の方々には、配付しておりますが、さらに入手されたい場合は、一般書店での販売は行っておりませんので、amazonもしくは、Rakuten でのご購入をお願い致します。

## かながわ山岳誌

SELECTION

県内のほぼすべての山の踏査記録と学術・文化情報



日本山岳会神奈川支部

### 『かながわ山岳誌』出版記念講演会の開催について

『かながわ山岳誌』出版を記念して、次のような講演会を開催します。

日時：2024年3月23日（土）13時から

場所：神奈川大学 横浜キャンパス（白楽）

講師：萩原 浩司（山の編集長）

猪熊 隆之（気象予報士、ヤマテン社長）

かながわ山岳誌の執筆・編集者

定員：150名、参加費は無料としますが事前申し込み制とします。

詳細は、下記 Web サイトをご参照ください。

<https://jacl.or.jp/event-list/2024012629188.html>

## 古道シリーズ

### 相州大山道を歩く

—大山道標を巡る旅—

葉上徹郎

#### 【2】柏尾通り・大山道（柏尾道）

##### 1. 江戸からの大山道と柏尾道

数ある大山道のうち、まず江戸からのルートを見てみよう。江戸からのルートで代表的なものは、次の3ルートであろう。東海道を使うものが2ルート。第1は戸塚宿起点の柏尾道、第2は藤沢宿起点の田村道である。また第3のルートは赤坂御門からの旧矢倉沢往還・青山道である。ちなみに、第2の田村道は「お花道」とも言われ、大山登拝門の鍵を預かる「お花講」が通る道である。ここでは、多くの道標が残されている柏尾道を見ていこう。

江戸後期の「道中双六」や「弥次喜多道中記」を見ると早朝、日本橋を発ち、1泊目は戸塚宿。日本橋から戸塚までは約10里であり、仮に時速4kmで歩くと10時間程の距離である。参詣者は、前日、両国橋のたもとで水垢離を行い、



《両国橋付近の立札》

白衣装に木太刀を携えて日本橋を「七つ立ち」、午前4時頃頃出発。大山の夏山開きに当たる新暦7月

27日の東京の日の出は5時45分であるからまだ暗いうちの出発だ。5番目の戸塚宿に着いたのは午後5時頃であったであろうか。2日目は、いよいよ柏尾道に入り、大山の宿坊を目指す約10里の道のりだ。戸塚宿から少し江戸寄りの不動坂に戻り、柏尾の不動堂を出発する。阿久和川右岸沿い（現県道401号線）を進み岡津へ。岡津付近から貉坂を登ると最高地点（60m）で、丹沢山塊、大山

が見渡せる。ここから大山を眺めながら西へ進む。中和田村（現泉区総合庁舎付近）を通り、長後へ。長後からは、用田を経て相模川に到達。ここ門沢橋で戸田の渡しを使って厚木側に渡り、さらに大山を目指して伊勢原に向かって進む。伊勢原の下糟屋で青山道いわゆる矢倉沢往還に合流する。大山に向かって傾斜のある道を進むと大山入口の第三鳥居があり、いよいよ大山宿坊街に入る。近くの滝で身を清め、明日は頂上の石尊大権現へのお参りである。帰路は、田村道を通り、江の島弁天や金沢、鎌倉で物見遊山と行こうか。

##### 2. 柏尾道の特徴

ここで柏尾道の特徴を見てみよう。いくつか特徴をあげると ①整備された東海道を利用できる。②海路を利用できる。③高低差が少ない。④柏尾と大山は、東西の関係にあり、大山を正面に眺めながら歩くことができる。等があげられるだろう。これら柏尾道の優位性から利用者も多く、結果として多くの道標が存在することとなったと思われる。明治に入り、東海道線平塚停車場ができると平塚方面からの参詣者が増加、それに反比例して柏尾道を通る参詣者は減少してきたとのことである。

それでは、戸塚宿から柏尾道を歩いてみよう。当時の1日分を3日に分けて歩く。1日当たり12～13kmである。当時の人々がいかに健脚だったか思い知らされる。1日目は戸塚の不動堂から小田急江ノ島線「長後」駅。2日目は長後駅からJR相模線「門沢橋」駅付近の相模川。3日目は相模川対岸の厚木市中戸田「戸田渡し碑」から青山道合流点がある下糟屋の先、石倉橋の大山不動道標までとしよう。効率的に道標を辿っていくためには、参考となる書籍等※のほかグーグルマップからの情報が効果的である。次からは、柏尾道と道標等を紹介するが、道標等の数も50基以上

になるため、代表的なものを紹介するにとどめたい。(つづく)

※川島敏郎著「大山詣り」

中平龍二郎「キャーッ！ 大山街道」

該当域の地形図

## 山行報告

### 荒崎・潮騒のみち 関東ふれあいの道

令和5年12月9日(土) 晴

関東ふれあいの道の第3弾は、「荒崎・潮騒のみち」である。京急三崎口駅から荒崎行きのバスに乗りし7分後、矢作入口にて下車。ここが今回のスタート地点だ。今までと同様、スタート地点には立派な関東ふれあいの道の案内板が立っていた。

少し戻って海側に向かう。やがて砂浜の続く海岸線に出た。残念ながらカメラではうまく写らなかったのだが、相模湾の奥には雪の少ない富士山の姿が見えていた。



和田・長浜海岸を行く

この砂浜は、夏になると海水浴場となり賑わうエリアだが、今は砂浜の陸側にテントを張ったキャンパーを見かける程度だ。砂浜歩きが終わる頃、関東ふれあいの道の道標を見つけた。以前は、このまま海岸線沿いに歩くのが関東ふれあいの道のルートだったが、現在は右折して丘を登るように案内されている。

高度差20mぐらいい上がると、そこは、一面平らになった遊園地が広がる。ソレイユの丘だ。

今日は土曜日なので家族連れが目立つ。観覧車やメリーゴーランド、トランポリン、ジップラインといったアトラクションのある設備を見ながら進むと目の前に菜の花畑が広がった。12月なのにもう花が咲き始めていた。



ソレイユの丘にて

ここで小休止した後、荒崎海岸へと下っていく。荒崎公園入口にあるベンチにてランチタイムとした。その後、海岸の岩場を歩き、景勝地となっている弁天島に到着。弁天島に立っている数本の松は、どうも立ち枯れてしまったようで葉が全く見られなかった。

公園入口に戻る途中、潮風の丘に立ち寄る。ここには、かながわの景勝50選「荒崎」の石碑が立っている。海側の眺めは逆光だが、水平線が広がっていて雄大な光景が広がっている。富士山や箱根の山々も薄っすらと見えていた。



かながわの景勝50選「荒崎」の石碑とともに

荒崎公園を後にして荒崎バス停を通過。ここからは延々とバス通りを歩いていく。途中、長井漁港にある長井水産直売センターに寄り道して買い物。ここは、海産物だけでなく農産物

も売っていた。

バス通り歩きに飽きてきた頃、左折して富浦公園に入り小休止。ここからは小田和湾の向こうに大楠山頂上が見えていた。



小田和湾の奥に大楠山

富浦公園を出発し、10分弱で今回の関東ふれあいの道のゴールである高等工科学学校前バス停に到着。

ここから逗子駅行きや横須賀駅行きのバスに乗り、帰路についてもよかったのだが、我々は、長井バス停まで戻る様に歩き、そこから三崎口駅行きのバスに乗車。というのも前回、油壺からの帰りにて昼間から三崎口駅前で呑みと食事のできる店を見つけたので、今回もそこで反省会を考えていたからだ。そんな訳で、今回も三崎口駅前で冷えた生ビールが旨かった。(永井記)

<行程>

三崎口駅 9:15=(バス)=9:22 矢作入口バス停  
9:28~<和田・長浜海岸>~10:35 ソレイユの丘  
11:08~11:28 荒崎バス停~11:37 荒崎公園ベンチ(ランチ)12:03~12:13 弁天島~12:27 潮風の丘~12:51 荒崎バス停~13:13 長井水産直売センター(買物)13:24~13:54 富浦公園  
13:59~14:08 高等工科学学校前バス停~14:16 長井バス停 14:19=(バス)=14:29 三崎口駅

<参加者>

込田、高井(延)、高井(紀)、廣島、丸山、稲垣、永井 7名

## 忘年山行 蓑毛越

山行委員会

令和5年12月15日(金) 曇後雨

今回は、忘年山行という事で大山下社への軽いハイキングを計画。

当日、小田急秦野駅に降りると、今にも雨が降りそうな曇天の空。8:55 バスで終点、蓑毛で下車するとザックカバーを取り出し、雨具の上だけを着用。蓑毛を出発し、まずは大日堂に寄り道する。仁王門にあった平安時代後期頃の作と言われている阿形・畔形の木造二王立像は修理のため搬出され、仁王門自体が通行禁止となっていた。修理作業は4年の予定とのことでまだ当分、対面することはできない状況だ。さらに奥に入っていく、大日堂の前に立つ。「大日堂のまわりの通行に際しては瓦、落下の恐れがあります。ご注意ください。」の立札が立っている。こちらはかなり老朽化が進んでいるようだ。



大日堂の前にて

寄り道を終えて蓑毛越へのルートに入る。常夜燈のある分岐道にて右の蓑毛越を選択。



蓑毛越を目指す

左はヤビツ峠だ。登り易い斜度が続き、それほど疲れない。だが進むにつれてガスが濃くなっていく。

もう少しで蓑毛越というところで雨が降ってきた。10:14 蓑毛越に到着。他の登山者の姿は見られない。小休止していると体温が冷えるので早々に出発する。ここから水平道に入り、下社に向かう。



下社への水平道

10:50 下社に到着。参拝後、拝殿横にある地下巡拝道に入り、御神水を見学し、さらに奥に入って江戸時代の大山詣でに担がれた納め太刀と言われる巨大な木刀を見物する。これは、源頼朝が真剣を奉納した故事になっている。

下社を出て石段を下っていく。



下社の石段を下る

天気が崩れてきたということで、女坂を下るのを止めてケーブルカーで下ることにした。大山ケーブル駅に到着し、ねぎし旅館に到着する直前で雨が本降りとなった。

その後、ねぎし旅館での食事だけに参加するメンバーと合流し、忘年会がスタート。宿の配

慮から我々だけの個室を用意していただき、ワイワイガヤガヤと会話と食事を堪能した。

猪鍋の猪肉は、見事なくらい赤い肉だった。



猪鍋を注文

最後に神棚の前で宿のおかみさんとともに記念撮影。今年の締めに対応しいイベントであった。(永井記)



ねぎし旅館の神棚の前にて

<行程>

秦野駅 8:35=(バス)=8:55 蓑毛バス停 9:05~10:05 大山分岐点~10:14 蓑毛越 10:19~10:50 下社 11:01~11:04 阿夫利神社駅 11:20=(ケーブルカー)=11:26 大山ケーブル駅 11:28~11:35 ねぎし旅館 14:28~14:40 大山ケーブルバス停 4:45=(バス)=15:09 伊勢原駅

<参加者>

葉上、込田、長島、永井 4名

ねぎし旅館から参加

森(武)、森(静)、丸山、砂田、堀江 5名

## 小田原城

### 城跡ハイキング

令和6年1月13日(土) 晴

今回の城跡ハイキングは、城下を囲む要塞の役目を担う総構(そうがまえ)と呼ばれる空堀と土塁を見た後に、小田原城を見学します。

定刻9:45に小田原駅西口を出発。城山地区を登り降りし、めだかの学校前を右折、坂を上ると城下張出(しろしたはりだし)総構に着きます。ここは、方形に張り出した塁があり、敵を見張り攻撃をかけることができたといわれています。

ここから谷津丘陵の尾根に沿って約20分緩やかに登ると次の総構の山ノ神堀切に着きます。谷津丘陵を仕切り、城の北側を守っていた堀切です。

さらに、谷津丘陵を15分程緩やかに登ると稲荷森の総構です。天然の地形を利用した空堀と土塁が見られます。

さらに20分程進むと丘陵の頂点あたりになり、道路の法面に土塁が見えその外側に空堀が残る小峰御鐘ノ台大堀切西堀の総構です。

この西堀から5分ほどで、小峰御鐘ノ台大堀切東堀となります。幅約20~30m、深さ約12m、角度は50~60度の急勾配で、当時の様子が最もよく残っています。



小峰御鐘ノ台大堀切東堀

この東堀を通り抜けると視界が開け、相模湾が目に入り、大島や真鶴半島の三ツ石までが望めます。海の景色を楽しみながら少し進むと、三の丸外郭新堀土塁に着きます。この土塁は海に面し、壁のような土塁の下には空堀が広がっています。

ここで昼食とします。風もなくうららかな日差しのもとでの休憩となりました。

昼食後、恒例の集合写真を撮り、砂田さんの小田原城と北条氏(鎌倉北条と小田原北条=後北条)のミニ歴史の話をいただき、小田原城を目指して出発です。



一夜城をバックに集合写真

小田原城は、言わずと知れた名城。戦国大名・後北条氏が関東支配の拠点とした城で、堅固な城として知られ、上杉謙信、武田信玄も小田原城を落とせず、太閤秀吉が15万の大軍で城を囲んだ時も100日間落城することがなかったということです。

城内には、紅梅、白梅、ロウバイが咲き誇っていました。天守閣内の見学は、これまでに見ている人もあり、自由見学としました。天守閣を後にし、常盤木門、銅門、馬出門土橋と通りお堀に出ます。

お堀には、海に近いせいかユリカモメが泳ぎ、冬の渡り鳥のキンクロハジロやオオバンが見られました。

お堀を過ぎ、ほどなくすると幸田口門跡とその奥には土塁が長く伸びているのが見えます。これも総構の一つです。



北条氏政・氏照の墓所

お堀端通りをまっすぐ進み、横丁を通り抜け

うっかりすると通り過ぎてしまいそうな所に、北条氏政・氏照の墓所があります。狭いところですので、数人づつ墓所に入りお詣りして、本日の城跡ハイキングを終了としました。

(渡邊記)

追記：小田原城は何度か訪れたことはあるが、総構に沿って歩いたのは初めてとの人が多かった。

<行程>小田原駅西口 9:45—城下張出 10:10—山ノ神堀切 10:30—稲荷森 10:50—小峰御鐘ノ台大堀切西堀 11:10—小峰御鐘ノ台大堀切東堀 11:15—11:25 三の丸外郭新堀土塁(昼食休憩) 12:35—小田原城 13:05—天守閣自由見学 13:50—常盤門—銅門—馬出門土橋—幸田口門跡 14:15—北条氏政・氏照墓所 14:25—小田原駅東口前解散 14:35

<参加者>会員：丸山、東山と同伴者、細川、稲垣、高井、森、砂田、込田、渡邊の10名  
公募者：10名の計20名



大仏から大仏ハイキングコースへ

## 鎌倉大仏ハイキング 山行委員会

令和6年1月20日(土) 曇後雨

今回の山行は、5月の全国支部懇談会での鎌倉ハイキングコースの下見を兼ねての実施となった。以下、気がついた点を記す。

長谷駅から大仏ハイキングコースに行くためには、交通量の多い車道脇を歩くため、班行動では注意を要する。大仏ハイキングコースは、銭洗弁天に寄ったりするため、アップダウンを繰り返すが源氏山公園までは歩行1時間程度で体力的には問題ないと思えた。途中、由比ガ浜や鎌倉衣張山が遠望でき、住宅地近いコースではあるが、自然にも触れあえ、タイワンリスなどとの遭遇もありえる。

源氏山公園からは殆ど一般道であるが、寿福寺または海蔵寺への区間(100m程度)は、どちらも下りの岩が露出したエリアがある。この箇所は慎重な歩行が求められる。

また、時間調整も兼ねて寿福寺の後、亀ヶ谷坂と呼ばれる切通にも立ち寄った。

なお、寿福寺と海蔵寺を比較したら、海蔵寺の方が四季折々の花が多いので楽しめるのではないかと思えた。いずれにしても最終的なコースは再度、検討する予定である。(早川記)



大仏ハイキングコース

<行程>長谷駅 9:10~9:17 大仏 9:20~9:25 登山道入口 9:27~10:24 銭洗弁天 10:30~10:40 源氏山公園 10:45~11:07 寿福寺 11:09~11:27 亀ヶ谷坂~11:42 海蔵寺 11:50~12:15 鎌倉駅

<参加者>森、早川、込田、中山、稲垣、打矢、大字、堀江、長島、芦沢の10名

## 佐島・大楠山のみち 関東ふれあいの道

令和6年2月3日(土) 晴

今回は、関東ふれあいの道(神奈川県版)ハイキングの4回目となる。

JR 逗子駅から横須賀市民病院行きバスに乗り、大楠芦名口にて下車。ここが今回のスタート地点だ。交差点を渡ると関東ふれあいの道の案内板を見つけた。今回のコースは、前半が大楠山登山、後半が海岸線沿いのバス通りを北上する平坦ルートとなっている。

大楠山へのルートは林道歩きで、緩やかな斜度で歩き易い。今日は2月だというのにポカポカ陽気で暖かい。歩き始めて約1時間15分、三浦半島最高峰の大楠山(標高241m)頂上に到着。山頂展望台下のレストハウスは閉店中で展望台も閉鎖されていた。



大楠山頂上にて

この後、大楠山レーダ雨量観測所横の展望台に向かう。ここからは、素晴らしい360度の展望が広がる。三浦半島最南部の台地、富士山、丹沢、横浜ランドマークタワーなどが一望できた。展望台下でランチタイムとした後、下山開始。前田川へ続く登山路を下っていく。

前田川に出会うと前田川遊歩道班と舗装路班に分かれた。遊歩道班は、水流沿いを石づたいに歩いていくコースだ。舗装路班は、正行院という寺院の前を通る。ここは和田義盛が巴御前の菩提寺として建立したのが始まりで1499年、今の場所に移ったといわれている。寺の入口付近には「巴御前ものがたり」、「三浦一族ゆかりの地を巡る」といった説明板が設置されていた。



関東ふれあいの道の石柱と立石

前田橋バス停車前で2班は合流し、その後、海岸線に続く国道134号線を北上していく。途中の立石公園で小休止する。ここは、江戸時代の浮世絵師、歌川広重が「相州三浦秋屋の里」と題して描いており、昔から富士山と立石が見える景勝地だった。その後、ひたすら車道を歩き、長者ヶ崎、葉山御用邸前を通り、ゴールの一色海岸バス停によろやく到着。

帰路の途中、連絡を取り合って逗子駅前の店を予約して頂いた支部会員の高井(延)さんと合流し、無事生ビールで乾杯することができた。(高井(延)さん有難うございました。)

今日は、快晴の下、大楠山での展望といい、その後の海岸線の風景も印象深いものだった。関東ふれあいの道の神奈川県版は、今後もまだ海岸線沿いの道が続く。日頃の山歩きとは違った新しい発見が楽しみだ。(永井記)

### <行程>

JR 逗子駅 9:03=(バス)=9:32 大楠芦名口バス停 9:35~10:48 大楠山頂上 11:03~11:14 レーダ雨量観測所展望台 11:55~12:56 前田川遊歩道入口~13:13 遊歩道合流点~13:17 前田橋バス停~13:41 立石公園 13:48~14:28 長者ヶ崎~14:41 葉山御用邸前~14:44 一色海岸バス停 14:50=(バス)=15:30 JR 逗子駅

### <参加者>

森、丸山、大字、稲垣、高井(紀)、廣島、東山、田島、永井、他2名(支部会員外) 11名

## 相模原貯水池周辺探鳥会

### 自然観察会

令和6年2月17日 曇

前日の予報に反して、曇りの肌寒い天気となりました。予定通り10:30発のバスに乗り、終点の北里大学病院で下車。ホテルと見まがうほどの病院を後にし、約10分で、相模原貯水池に到着します。この貯水池は、正式には、横浜市水道局の沈殿池で、ダムに分類されています。

沈殿池に着きますと、早速首の長いカンムリカイツブリが現れて、すぐに潜りました。次に、カルガモが現れました。

遠くの取水塔の周りのごみ除けフェンスの周辺に多くの水鳥が見えますので、そちらに移動します。フェンスの上には、カワウの群れやその隣にはアオサギが、また、オシドリをつがい二組、マガモのつがいやオスたちの群れが、見られたりします。左手に、水鳥の群れが見えますので、そちらに進むと、ヒドリガモやホシハジロ、キンクロハジロ、コガモの雌が泳いでいました。気が付くと1時間が過ぎていましたので、次の神奈川県立相模原公園へと移動します。



オシドリをつがい

時間的に昼となりましたので、少し寒いですが、森の展望台の前の広場にある東屋で、昼食とします。東屋の横で、ツグミが現れチョンチョンと歩き、カワラヒワの群れが飛んでいきました。

昼食後、フランス庭園を目指し出発します。途中、秋篠宮様ご夫妻によるお手植えのケヤキを見て歩を進めると、ツグミが道案内

をしてくれます。



フランス庭園

フランス庭園は、メタセコイヤに囲まれて、中央に噴水が設置されていますが、冬季使用中止となっていました。フランス庭園の突き当りに、サカタのタネグリーンハウスがあります。この中に入り、温室内（入園料100円）の熱帯植物をみんなで見て回りました。中には目にする植物もありますが、なにせ個々の名前が長く、とても覚えきれません。温室を出て、恒例の集合写真を撮り、次の相模原市立麻溝公園へ移動となります。



グリーンハウス内花壇での集合写真

この公園では、前の公園と打って変わって、子供たちが遊具遊びや、ボールけりをして賑やかです。ケヤキの木に、シジュウカラが何羽か飛んできたのを見て、グリーントワーの展望台に上がりました。この展望台は、38mあり、横浜のランドマークタワー、奥多摩の大岳山、丹沢の山々と、曇天ながら360度ぐるりと見渡せました。タワーを降り、ふれあい動物広場へと進みます。ポニー乗馬場があり、参加者も乗りたがっていましたが、子供達が列をなしていました。クジャクやリ

スザル、中に入れる小鳥ゲージなどがあり、また、モルモットと触れ合うコーナもあります。モルモットは意外と大きく、子猫ほどの大きさで、ここでも、ファミリーが順番待ちをしていました。

動物広場をでて、女子美術大学前のバス停に行き、探鳥会は無事終了となりました。本日の探鳥会は、池ではそれなりに水鳥を観察（11種）できましたが、公園内では、人手の賑わいがあり残念ながら野鳥が多く現れませんでした。（渡邊記）

<行程>集合：小田急線相模大野駅中央口改札出口 10：10 相模大野 10：30-（バス）- 10：50 北里大学病院前-相模原沈殿池水鳥観察 11：00～12：00-相模原公園森の展望台前広場（昼食）12：10～12：45-（フランス庭園経由）-サカタのタネグリーンハウス 13：15～13：45-麻溝公園グリーントワー13：55～14：15-（ふれあい動物広場経由）-女子美大前 14：50/15：00-（バス）=相模大野駅 15：30 解散

<参加者（敬称略）> 打矢、込田、大字、丸山、森、廣島、大槻、渡邊の計8名

## 役員会報告

### 12月役員会

日時：令和5年12月21日（木）：19：00～20：55

場所：かながわ県民センター708会議室

出席者：込田支部長、大槻副支部長、早川副支部長、永井事務局長、森、落合、出江

監事：砂田

オンラインでの参加：渡辺、葉上、中島、青木  
委任状による出席：柴山、田中、田島、長島、廣岡

[報告事項]

#### (1)連絡事項

- ・JACWEBサイトに掲載されていた関東ふれあいの道に対し問合せ有。（4月から参画したので来年度計画が欲しい）
- ・各支部に神奈川支部報（第27号：来年度の全国支部懇談会情報が掲載）を送信

#### (2)山行報告

- ・11/18にて山行委員会三浦アルプス（風早橋～JR田浦）は、9名が参加。
- ・12/9に関東ふれあいの道ハイキングとして、

荒崎・潮騒のみちを実施。会員が7名参加。

- ・12/15にて山行委員会忘年山行（蓑毛越）を実施。参加4名+ねぎし旅館（食事）参加5名

[審議事項]

#### (1)年間計画

- ・2025年3月までの行事などの日程を確認した。

#### (2)山行計画

- ・城跡ハイキング第3弾として、1/13に小田原駅西口～城山交差点～税務署西交差点～総構城下張出～山ノ神堀切～稲荷森～小峰御鐘ノ台大堀切東堀～三の丸外郭新堀土塁～小田原城本丸広場（昼食休憩）～天守閣見学～常盤木門～銅門～馬出門土橋～幸田口門跡～北条氏政・氏照の墓所～小田原駅東口を実施予定。留守本部は込田、渡邊。
  - ・山行委員会主催で、1/20に江ノ電長谷駅～大仏～銭洗弁天～源氏山公園～寿福寺～鎌倉駅を実施予定。これは全国支部懇談会鎌倉ハイキングルートの調査を兼ねる。留守本部は次回役員会で決定。
  - ・妙高赤倉温泉をベースとしたスキー（今回はテレマークスキーの講習会も実施予定）山行は1/27～1/29の予定であったが参加人員が少なく中止とする。ユアーズインには出江から連絡。
  - ・関東ふれあいの道4として、2/3に大楠芦名口～大楠山～前田橋～立石公園～一色海岸のコースを歩く予定。
  - ・自然観察会として、2/17に北里大学前～相模原貯水池～相模原公園～麻溝公園～女子美大のコースを歩く予定。
- #### (3)その他
- ・森より、かながわ山岳誌の発刊の取り扱いについて説明があった。前回役員会で承認された内容だが、送料がスマートレター利用でより安価にできることが判明。よって、支部内での販売価格が200円安くなった。本内容で承認された。
  - ・森より、かながわ山岳誌出版記念講演会について説明があった。3月21日（土）、神奈川大学横浜キャンパス3号館で実施予定。なお、終了後、大学内でパーティを予定。
  - ・永井より、県岳連70周年記念事業に関し、当支部でのイベント検討について報告があった。8月末までに当支部での70周年イベントを実施し、その後報告書を提出し、70周年記念誌に掲載予定。
  - ・葉上より、JAC120周年記念行事として熊野

古道集中イベントの説明があった。集中の日程は、2024年5月18日・19日。コースは、個人参加と支部パーティとの参加形態あり。

- 永井より、今年度の会計見込みについて説明があった。特別交付金の支出が講師謝金を入れても会場費等が神奈川大学で安価にできることで、要検討となった。
- 早川より、日赤救急法の講習会申し込みについて説明があった。全国支部懇談会での山行があり、リーダークラスには受講を推奨するもの。講習会は、3/16、3/17、3/20の3日間とした。
- 永井より、全国支部懇談会のパンフレット案、及び申込書案が出された。指摘を受けた箇所を修正し、12/25までに最終確認版を送信することとした。

## 1月役員会

日時：令和6年1月18日（木）：19:15～20:50

場所：かながわ県民センター709会議室

出席者：込田支部長、大槻副支部長、永井事務局長、森、落合、中島、田島

オンラインでの参加：早川、渡辺、植木

監事：砂田

委任状による出席：長島、青木、田中、柴山、葉上、廣岡、出江

[報告事項]

### (1) 会員の異動

前回報告した新規入会者の 菅 武雄(会員番号 17203) の支部所属の手続きが完了した。

### (2) 連絡事項

- 南関東三支部合同懇親山行は、埼玉支部主催で、10/20（日）に日和田山～物見山で実施予定。

### (3) 山行報告

- 城跡ハイキング第3回として、1/13に小田原駅西口～城山交差点～税務署西交差点～総構城下張出～山ノ神堀切～稲荷森～小峰御鐘ノ台大堀切東堀～三の丸外郭新堀土塁(昼食休憩)～小田原城本丸広場～天守閣見学～常盤木門～銅門～馬出門土橋～幸田口門跡～北条氏政・氏照の墓所～小田原駅東口を実施。参加者は一般10名、支部会員9名+同伴者1名。

[審議事項]

### (1) 年間計画

- 今後の予定を確認した。次回の支部報の発行は2月になる見通し。

### (2) 山行計画

- 山行委員会主催で第3回として、江ノ電長谷駅～長谷大仏～銭洗弁天～源氏山～寿福寺～鎌倉駅を実施予定。下山後、新年会実施予定。なお、この山行は5月の全国支部懇談会記念山行のハイキングコースの下見を兼ねている。留守本部は大槻と中島が担当。
  - 関東ふれあいの道の第4回として、2/3にJR 逗子駅=(バス)=大楠芦名口バス停～大楠山(大楠平:ランチタイム)～前田橋～立石～長者ヶ崎～一色海岸バス停=(バス)=JR 逗子駅を実施予定。留守本部は中島と永井(現地対応)が担当。
  - 自然観察会として、2/17に相模大野駅=(バス)=北里大学前～相模原貯水池(水鳥観察)～相模原公園～麻溝公園散策(野鳥観察)～女子美大=(バス)=相模大野駅を実施予定。留守本部は次回決める。
  - 城跡ハイキングの第4回として、高尾駅北口=(バス)=八王子城跡/ガイダンス施設～八王子城本丸(460m)～松木曲輪(昼食)～管理棟～御主殿跡～ガイダンス施設/八王子城跡バス停=(バス)=高尾駅北口を実施予定。留守本部は次回決める。
- (3) その他
- 中島より、城跡ハイキングの2024年度の実施計画および2025・2026年度の対象となる城跡についての説明があった。
  - 森より、かながわ山岳誌の出版書籍は2/5に納入されることになった旨の報告があった。次いで、この書を複数購入希望される場合の依頼に関する書式の説明があった。
  - 森より、かながわ山岳誌の出版記念講演会の内容と案内状(支部会員用と一般用)および会報の原稿についての説明があった。3/23の当日は、業務が多岐にわたるので、役員への協力要請があった。
  - 森より、かながわ山岳誌出版と記念講演会の記者発表資料についての説明があった。
  - 永井より、令和6年度の事業計画と活動計画並びに予算案についての説明があった。本部への提出期限は前者が1/31、後者が1/22。
  - 永井より、5月開催の全国支部懇談会の費用シミュレーションの内容と本部に提出する予算書についての説明があった。予算案は±0を前提として立案することにした。宿泊なしの参加希望者の取り扱いについての意見交換を行った。
  - 早川より、3/16・3/17・3/20に開催する日

赤の救急法講習会の参加状況についての説明があった。申し込みは6名。

- 永井より、小島烏水の死去を受けての岡野金次郎の追悼文の紹介があった。
- 永井より、本部から届いたGoogleドライブに関する資料の説明があった。

## 2月役員会

日時：令和6年2月15日(木)：19:00～20:25

場所：かながわ県民センター709会議室

出席者：込田支部長、永井事務局長、森、落合、柴山

オンラインでの参加：早川、渡辺、葉上、出江、青木

監事：砂田

委任状による出席：大槻、長島、廣岡、植木、田島、中島

[報告事項]

### (1)山行報告

- 山行委員会主催で第3回として、1/20に江ノ電長谷駅～長谷大仏～銭洗弁天～源氏山～寿福寺～亀ヶ谷坂～海蔵寺～鎌倉駅を実施。参加者は10名。下山後、新年会実施。参加者は9名。この山行は5月の全国支部懇談会記念山行のハイキングコースの下見を兼ねて行ったが、いくつかの課題が見つかった。
- 関東ふれあいの道の第4回として、2/3にJR 逗子駅＝(バス)＝大楠芦名口バス停～大楠山～大楠平展望台～前田橋～立石～長者ヶ崎～一色海岸バス停＝(バス)＝JR 逗子駅を実施。参加者は9名＋途中一部を親子2名(会員＋非会員)が参加。

[審議事項]

### (1)年間計画

- 今後の予定を確認した。

### (2)山行計画

- 自然観察会として、2/17に相模大野駅＝(バス)＝北里大学前～相模原貯水池(水鳥観察)～相模原公園～麻溝公園散策(野鳥観察)～女子美大＝(バス)＝相模大野駅を実施予定。留守本部は現地対応とし、込田と渡辺が担当。
- 山行委員会主催行事として、3/6～3/8に赤倉温泉をベースにスノーシューハイキングを実施予定。再度案内を出すことにする。
- 城跡ハイキングの第4回として、3/9に高尾駅北口＝(バス)＝八王子城跡／ガイダンス施設～八王子城本丸(460m)～松木曲輪

(昼食)～管理棟～御主殿跡～ガイダンス施設／八王子城跡バス停＝(バス)＝高尾駅北口を実施予定。留守本部は現地対応とし、具体的にはリーダーに一任。

### (3)その他

- 森より、2/5に納入された「かながわ山岳誌」の支部分の発送状況について説明があった。なお、当初の想定より本の厚さが増えたため送料が高くなり、予定価格の1,800円を2,000円に引き上げた。また支部負担分の送料が当初予算では不足するため、支部の予備費からの支出も提案され、承認された。詳細は、永井・森・青木で協議し、次回報告することとした。また、公的機関への寄贈についても検討された。
- 森より、かながわ山岳誌出版記念講演会(3/21開催)の準備状況について説明があり、当日のスタッフとしての協力要請があった。
- 永井より、本部からの支部特別助成金に関して、2023年度分の報告書と2024年度分の申請書について説明があり、2月末の期限までに提出することが承認された。
- 永井より、全国支部懇談会の他支部からの申込状況と当支部会員の申込状況について説明があった。締め切りを3/8まで延期する処置をとることとした。
- 永井より、全国支部懇談会について、橋本会長へ招待状を送り、回答をいただいた旨の説明があった。

## 支部会員動静

- 16958 田口光江 3月末で退会  
(本部に届け済み)
- 13665 土田常次 2/14退会(物故)

## 今後の予定

### 役員会

- 3月21日(木)19時～ 710 会議室
- 4月18日(木)19時～ 702 会議室
- 5月16日(木)19時～ 709 会議室
- 6月20日(木)19時～ 705 会議室
- 7月18日(木)19時～ 709 会議室

於：かながわ県民センター

### 支部総会

5月18日(土)13:30～ 301会議室  
於：かながわ県民センター

### イベント(城跡ハイキング)

3月9日(土) 八王子城  
5月11日(土) 河村城(山北町)  
9月14日(土) 山中城(静岡県)  
11月9日(土) 石垣山城(小田原市)  
1月11日(土) 小沢天神山城・榊形山(川崎市)  
3月8日(土) 衣笠城・怒田城(横須賀市)

### イベント(関東ふれあいの道ハイキング)

4月13日(土) 稲村ヶ崎・磯づたいのみち  
6月8日(土) 湘南海岸・砂浜のみち  
10月12日(土) 大磯・高麗山のみち  
12月1日(土) 鷹取山・里のみち  
2月1日(土) 弘法大師と桜のみち

### イベント(自然観察会)

4月27日(土) 鎌倉広町緑地  
6月1日(土) 北山公園と八国山  
9月28日(土) 牧野記念庭園&石神井公園  
2月15日(土) 皇居一周探鳥会

### イベント(その他)

3月6日(水)～8日(金) スノーシューハイク  
3月23日(土) かながわ山岳誌講演会  
5月25日(土)・26日(日) 全国支部懇談会  
(神奈川支部主管)  
10月20日(日) 南関東三支部合同懇親会山行  
11月17日(日) 県岳連創立70周年式典  
12月7日(土) 晩餐会  
12月8日(日) 晩餐会山行

来年度の支部通常総会は、下記の予定です。

日時：2024年5月18日(土)

13:30～15:15

場所：かながわ県民センター

301会議室

なお、総会后、全国支部懇談会に対する事前打合せを予定しております。(15:30～16:50)

## あとがき

支部報の発行がまたまた遅れて誠に申し訳ございません。心よりお詫び申し上げます。

今回、来期の城跡ハイキング、関東ふれあいの道、自然観察会の年間計画を提示しております。今後のスケジュールに反映して頂ければ幸いです。

また、今年5月25日・26日には全国支部懇談会が神奈川支部主管で開催予定です。支部の皆様におかれましては、当日だけに限らず、いろいろとサポートして頂ける方々を募集しております。ご協力頂ける方は、メールにて事務局/永井までご連絡して頂ければ幸いです。宜しく願い申し上げます。

発行：日本山岳会神奈川支部 支部長：込田伸夫

編集者：田島、永井、葉上

令和6年3月1日